

研究員の眼

世界人口の動向と生命保険マーケット ー生保マーケットにおける「中国の米国超え」は実現するのかー

保険研究部 上席研究員 有村 寛
(03)3512-1822 arimura@nli-research.co.jp

1——世界の人口動向

国連は、昨年7月に世界人口推計を公表した。それによれば、世界の人口は、2080年代に約103億人のピークに達した後、減少に転じるという¹。それまでの人口推計では、今世紀中に人口が減少に転じることはないと言われてきたが²、人口のピークが前倒しになった要因は、中国の出生率が予想を下回ったこと等、とされている³。

(表1)は、2050年、2100年の推計値における人口上位10か国である。

中国は、既に2021年に人口ピーク(14億2644万人)を迎えており、2024年の14億1900万人から、2100年には、半分以下の6億3300万人になるとされている。依然として、世界第2位を維持している

【図表1】人口上位10か国(国連推計)

順位	2024年	2050年	2100年
1	インド 14億5,000万人	インド 16億7,900万人	インド 15億 500万人
2	中国 14億1,900万人	中国 12億6,000万人	中国 6億3,300万人
3	米国 3億4,500万人	米国 3億8,000万人	パキスタン 5億1,100万人
4	インドネシア 2億8,300万人	パキスタン 3億7,100万人	ナイジェリア 4億7,600万人
5	パキスタン 2億5,100万人	ナイジェリア 3億5,900万人	コンゴ 4億3,000万人
6	ナイジェリア 2億3,200万人	インドネシア 3億2,000万人	米国 4億2,100万人
7	ブラジル 2億1,100万人	エチオピア 2億2,500万人	エチオピア 3億6,700万人
8	バングラデシュ 1億7,300万人	コンゴ 2億1,800万人	インドネシア 2億9,500万人
9	ロシア 1億4,400万人	ブラジル 2億1,700万人	タンザニア 2億6,200万人
10	エチオピア 1億3,200万人	バングラデシュ 2億1,400万人	バングラデシュ 2億 800万人
(参考) 日本	日本 (12位) 1億2,300万人	日本 (17位) 1億 500万人	日本 (32位) 7,600万人
世界計	81億6,100万人	96億6,400万人	101億8,000万人

出典：国連HP。10万人以下、切り捨て。

¹ United Nations World Population Prospects 2024 Summary of Results より。

² United Nations World Population Prospects 2022, 2024 Summary of Results、World Population Prospects 2019 より。

³ 前掲注釈1と同じ。

ものの、その急速な減少ぶりは著しいものがある。

インドは、2061年にピーク（17億128万人）を迎えると予測されており、その後は緩やかに減少し、2100年には、15億500万人と予想されている。

一方、米国は、順位は落ちていくものの、今世紀中は人口が増え続け、2024年の3億4,500万人から2100年には4億2,100万人になるという⁴。

コロナ禍前の2019年における人口推計（「2019年推計」）と、2024年における同推計（「2024年推計」）を比較したのが（図表2）である。

これによれば、2050年の推計値は、コロナ前後で大きくは変わらないものの、2100年では、特に中国は、コロナ禍を経て、予測値も大幅に引き下げられたことになる（10億6,400万人[2019年推計]→6億3,300万人[2024年推計]）。

【図表2】将来人口推計（「2019年推計」、「2024年推計」比較）

順位	2050年		2100年	
	①2019年推計	②2024年推計（対①）	③2019年推計	④2024年推計（対③）
1	インド 16億3,900万人	インド 16億7,900万人(102.4)	インド 14億4,700万人	インド 15億500万人(104.0)
2	中国 14億200万人	中国 12億6,000万人(89.9)	中国 10億6,400万人	中国 6億3,300万人(59.5)
3	ナイジェリア 4億100万人	米国 3億8,000万人(100.3)	ナイジェリア 7億3,200万人	パキスタン 5億1,100万人(126.8)
4	米国 3億7,900万人	パキスタン 3億7,100万人(109.8)	米国 4億3,300万人	ナイジェリア 4億7,600万人(65.0)
5	パキスタン 3億3,800万人	ナイジェリア 3億5,900万人(89.5)	パキスタン 4億300万人	コンゴ 4億3,000万人(118.8)
6	インドネシア 3億3,000万人	インドネシア 3億2,000万人(97.0)	コンゴ 3億6,200万人	米国 4億2,100万人(97.2)
7	ブラジル 2億2,800万人	エチオピア 2億2,500万人(109.8)	インドネシア 3億2,000万人	エチオピア 3億6,700万人(124.8)
8	エチオピア 2億500万人	コンゴ 2億1,800万人(112.4)	エチオピア 2億9,400万人	インドネシア 2億9,500万人(92.2)
9	コンゴ 1億9,400万人	ブラジル 2億1,700万人(95.2)	タンザニア 2億8,500万人	タンザニア 2億6,200万人(91.9)
10	バングラデシュ 1億9,200万人	バングラデシュ 2億1,400万人(111.5)	エジプト 2億2,400万人	バングラデシュ 2億800万人(137.7)
（参考）日本	日本（17位） 1億500万人	日本（17位） 1億500万人(±0)	日本（36位） 7,400万人	日本（32位） 7,600万人(102.7)
世界計	97億3,500万人	96億6,400万人(99.3)	108億7,500万人	101億8,000万人(93.6)

出典：国連HP。10万人以下、切り捨て。

2——世界の生保マーケット

人口動向は、生保マーケットに与える影響が大きいと考えられるが、これらの数値をみると、生保に関する調査・研究を担当している筆者としては、生保マーケットにおける「中国の米国超え」はどうなるのか、ということが気になってくる。

ドイツに本社を置く、世界的な保険・金融グループであるアリアンツは、「Allianz Global Insurance Report 2022」において、「コロナ禍前には、我々を含め多くの機関は、保険料収入で2030年頃に中国

⁴ 一方、米国の連邦議会予算局（CBO）が今年1月13日に公表したところによれば、移民が減ることと出生率が低いまま推移することを背景に、米国の今後30年間の人口の伸びの推計値は大幅に引き下げられ、2054年の推計値は昨年の推計値を1,100万人下回る3億7,200万人とされている。（保険毎日新聞「海外トピックス 人口動態 米国：今後30年間の伸びを下方修正 2033年から減少に転化の予測 移民が減り出生率が下がることを反映」（2025年4月3日）より。）

が米国を抜いて世界最大の保険市場になるだろうと推測していた。しかし、コロナ禍等を経て、それは不可能であると考えられており、中国が世界最大の保険市場になるのは、おそらく 2050 年頃になるだろう。」としていた。

(図表 3) は、スイス再保険による 2013 年、2023 年における世界の生命保険マーケットの収入保険料、ならびにアリアンツによる 2034 年における予測値である。

ここ 10 年における中国、インドの成長は著しいものがあつた。

中国は、2023 年時点では 3,904 億ドルと、米国(7,148 億ドル)の半分強となった。

更に、2034 年には 8,656 億ドルと米国(1 兆 666 億ドル)の約 8 割に迫る予測となっている。

また、インドは、2013 年では、カナダに次ぐ 11 位(521 億ドル)

と、ランキング圏外だったが、2023 年には第 7 位(1,001 億ドル)、2034 年は第 3 位(4,068 億ドル)で米国の約 4 割と、著しい勢いで成長を続けている。

【図表 3】2013年、2023年、2034年の各国生保収入保険料（上位10か国）

【単位：億ドル】

順位	2013年収入保険料		2023年収入保険料		2034年収入保険料	
1	米国	5,328	米国	7,148	米国	10,666
2	日本	4,227	中国	3,904	中国	8,656
3	英国	2,228	日本	2,771	インド	4,068
4	フランス	1,601	英国	2,369	英国	3,722
5	中国	1,521	フランス	1,700	日本	3,405
6	イタリア	1,179	イタリア	1,105	韓国	2,634
7	ドイツ	1,143	インド	1,001	フランス	2,282
8	韓国	912	ドイツ	933	イタリア	1,631
9	台湾	750	韓国	843	ドイツ	1,171
10	カナダ	523	カナダ	703	カナダ	1,097

(資料) 2013年、2023年は、スイス再保険「World insurance in 2013」、「World Insurance 2024」より。
2034年は、Allianz「Allianz Global Insurance Report 2024」より筆者作成。

3——生保マーケットにおける「中国の米国超え」は実現するのか

一方、2023 年、2034 年における人口一人あたり保険料や増加率等に基づき⁵、将来（2040 年、2045 年、2050 年、2100 年）における米国、中国の収入保険料を試算してみたのが（図表 4）である。算出過程において、一定割り切った前提を置いていることから、参考値に過ぎない点は、ご留意いただきたい。

これによれば、『「2019 年推計」人口に基づく予測』では、中国の生保収入保険料（16,279 億ドル）は、2045 年に米国（15,866 億ドル）を 2.6%上回り、2050 年には再び米国に抜かれる結果となったが、

⁵（図表 4）の算出にあたっては、以下の前提を用いた。

- ① 2023 年から 2034 年における米国、中国それぞれの「人口 1 人あたり保険料」の平均増加率（米国 3.3%、中国 7.2%）を算出。
- ② ①で求めた「人口 1 人あたり保険料」の平均増加率について、米国は「2035 年以降も同じ増加率が継続」と仮定。中国は、「中国の名目 GDP は、2033 年に米国の水準を一旦上回ることが予測され、2050 年には再び米国が中国を上回ることが見込まれている」（通商白書 2022、P206）を参考に、「2050 年までの 16 年のうち、前半 8 年はそれまでと同じ増加率が継続、以降（2050 年以降も同様）は米国と同じ増加率で推移する」と仮定。
- ③ ①、②で求めた、米国、中国の「人口 1 人あたり保険料の将来値」と「2019 年人口推計」、「2024 年人口推計」に基づき、2040 年、2045 年、2050 年、2100 年における米国、中国の生保収入保険料を算出。

『2024 年推計』人口に基づく予測』では、同数値における中国の米国超えはみられなかった。

また、2100 年時点では、いずれの予測でも、中国の生保マーケットは米国に大きく水を空けられることとなった。

前提の置き方によって予測値も変わってくるため、

【図表 4】米国、中国の生保収入保険料の将来予測 【試算】

【単位：億ドル】

		2040年	2045年	2050年	2100年
「2019年推計」人口に基づく予測	米国	13,244	15,866	18,946	109,746
	中国 (対米国)	13,028 (98.4)	16,279 (102.6)	18,782 (99.1)	72,270 (65.9)
「2024年推計」人口に基づく予測	米国	13,375	15,984	18,996	106,705
	中国 (対米国)	12,073 (90.3)	14,875 (93.1)	16,880 (88.9)	42,995 (40.3)

出典：注釈 5 に記載の前提に基づき、筆者にて試算。

（図表 4）で示した数値は、先述のとおりあくまでも一つの試算例であり、目安に過ぎないが、当試算結果からは、中国生保マーケットの米国超えの実現は、予断を許さない状況にあると考えられる。

4——おわりに

以上、昨年に国連より発表された、世界人口推計について、コロナ禍前後の推計の比較も含めてみた後、世界生保マーケットの 2034 年までの状況、そして、それらのデータを基に、生保マーケットにおける「中国の米国超え」がどうなるのかについて、試算してみた。

今回の試算では示せなかったが、先述のとおり、インドは、ピークを迎えた後の人口減少も緩やかで、2100 年時点の人口も、2 位以下を大きく引き離しており、2034 年以降、遠からず米国、中国にからんでくることが予想され、長期的には、米国を抜いて一位になることも十分考えられる。また、人口の急増が予想されるアフリカ諸国でも、生保マーケットは急成長を遂げるであろう。

先述のとおり、人口動向は、生保マーケットに与える影響も大きく、マーケット予測等における主要な項目の一つと考えられることから、今後も引き続き、注視して参りたい。